

# みらい通信

## 第37号

発行元 NPO法人紫波みらい研究所  
連絡先 〒028-3318  
岩手県紫波郡紫波町紫波中央駅前1-2-2  
電話 019-671-2244  
FAX 019-671-2243  
Email miraiken@shiwa-mirai.com  
発行日 平成22年 9月13日(月)

## 里山づくりプロジェクト22開催！

7月31日から8月1日にかけて、毎年恒例の國學院大学参加の里山づくりプロジェクト22が水分地区山林で開催されました。今年は、上松本地区の皆さんにご協力いただきました。大学関係者は、総勢28人の参加。間伐、枝打ち、間伐した木材を一列に並んで林道まで搬出と盛りだくさんの内容となりました。それでも、暑い中、てきぱきと体を動かす参加者。うっそうとしていた森に光が差し込んで、美しい里山に変身しました。

「手で渡された丸太の重みをずっと忘れずに生きていきます」と感想を残してくれました。



## 第22回環境探検隊開催！ TOTO 水環境基金の助成で実施しました。

7月25日(日)に紫波町片寄地区の林道から沢に入り、水生生物を探しながら、終点を目指しました。数年前に入った時は、何も見つからず、がっかりしましたが、今回は、沢ガニ、蛙など参加者が興味を引く生物を見つけることができました。沢までの林道でも数種類のセミのぬけがらを見つけたり、グミを食べたりと紫波町の自然を満喫することができました。



沢で生き物探し  
講師の話真剣に聞く参加者

## 第5回子ども夏エコ祭開催！



8月8日(日)、ナックスホールで子ども夏エコ祭を開催しました。町内の小中学生とその保護者ら約200人が参加。

みらい研は、紫波町産材を使った木工品づくりと木のクイズを行いました。子どもたちに大好評。材料が足りなくなるほど。親子でどんなものを作るか相談する姿は、とても微笑ましく、心温まる光景でした。木のクイズのおかげで、紫波町の木が「けやき」だということを初めて知った親子もいました。木工品づくり！楽しいね！

# 理事会報告

日時：平成22年8月4日(水) 18:30～  
参加者：阿部、吉田(百)、八重畑、佐藤  
内容：1 みらい研と倶楽部の事業報告  
2 協議事項  
日本ミツバチを考える会(仮称)  
水道事業所主催フォーラムの協力  
事務局体制  
今後の事業計画  
その他

日時：平成22年9月6日(月) 18:30～  
参加者：阿部、八重畑、千葉、竹原、佐藤  
内容：1 みらい研と倶楽部の事業報告  
2 協議事項  
地域新エネルギー等導入促進事業  
紫波町ニホンミツバチを考える会  
パソコン機器の購入  
事務局体制  
産業まつり  
その他



次回理事会は  
10月6日(水)

## イベント情報

### 平成の森下草刈り

日時：9月19日(日) 8:30～  
場所：平成の森 現地集合  
内容：下草刈り及び整地  
持ち物：かま、帽子、雨具、長靴など  
昼食と飲み物は用意します。

### 平成の森植樹事業

日時：10月3日(日) 8:00～  
場所：サンビレッジ紫波集合  
バスで移動します。  
内容：実のなる木の植樹・補植  
自然観察会  
食育のお話  
山王海ダムの見学

### ダンボールコンポスト講習会

日時：9月27日(月) 10:00～  
場所：旧郡役所(役場の南側) 1階  
講師：紫波町ごみ減量女性会議  
参加費：コンポストセット購入費  
1,000円  
持ち物：10Kgのみかん箱(二層になっているもの)  
定員：10人(先着順)、

### 新事業の説明会

日時：9月27日(月) 18:30～  
場所：役場第一会議室  
内容：地域新エネルギー等導入促進事業についての説明会

各イベントは、事務局まで申し込みが必要です。

電話 671-2244



## 倶楽部 部会日程

### 食話倶楽部 部会

日時：9月16日(木) 13:00～  
場所：紫波みらい研究所  
内容：産業まつりの出し物について  
今後の事業について

### 山と森倶楽部 定例会

日時：9月14日(火) 18:30～  
場所：紫波みらい研究所  
内容：平成の森事業について  
下草刈り  
植樹・自然観察会  
エコスクールについて  
紫波町産の木を使ったはしづくり  
星山みんなの森観察会について

### またあした倶楽部

日時：9月30日(木) 18:00～  
場所：紫波みらい研究所  
内容：事業の総括について  
上下水道環境フォーラムについて



### 【編集後記】

8月は、事務局の都合で「みらい通信」をお休みしてしまいました。申し訳ありませんでした。さて、9月も2週目になって、やっと昼も涼しくなってきました。あの暑い毎日は何だったんでしょう。環境に配慮した生活を促進すべき立場の本研究所は、緑のカーテンをためすこともなく、クーラーをつけっぱなしの毎日でした。トホホ…。稲刈りも早くなったとのこと。紫波町の秋は短く過ぎ、すぐそこに冬が足踏みして待っているような気がするのは、私だけでしょうか。(事務局)